

2022年

第24回

総会議案書

開催日時：2022年5月29日（日）10:00~11:00

開催場所：長房ふれあい館・娯楽室

特定非営利活動法人


市民ユニットりぼん

たすけあいワーカーズりぼん設立趣意書

日大人口研究所によれば、14年後、65才以上の人口は、世界で初めて20%を超え、2025年には、65才以上の寝たきりは228万人、痴呆症（注1）は321万人と現在の3倍になるそうです。この為、40才代の未就業女性の45%が介護に追われるだろうという分析もありました。2025年に40才代ということは、現在の小学生です。高齢化問題は、まさに私たち自身に、そして子供達にかかってくるのだと言えます。それに核家族化・小家族化が進む中、現代における孤独は、高齢者に限られる現象ではありません。泣きわめく赤ん坊を抱えて、途方にくれたり、病気や悩みによって、辛い思いをし、不安で泣いたりパニックになった経験のある人は多いはずです。家事労働も出産も子育ても親を看取ることも、それらの多くは、女性の手によって支えながら、社会的に正当な評価がされることなく、やれて当然という社会通念によって追い詰められていくのです。

今、私達は、ワーカーズコレクティブという新しい働き方を選び取りました。全員で出資し、働きながら運営し、雇われるのではなく、自主性、自発性に基づいた分担により、働き方もコントロールしていきます。お金を稼ぐ為だけの労働ではなく、働くことを自己表現のひとつとしてとらえ、生命を支える活動に自信と誇りをもって、取り組んでいきたいと思えます。

アビリティクラブたすけあいと共に、今までの行政による福祉施策や民間の福祉サービス産業にはなかった市民主導による地域に開かれたたすけあいのしくみを作っていきます。

そして老いても障害を持っても当たり前暮らし続けることのできる街づくりに繋げていきたいと思えます。

1993年4月

注1) 2004年に厚生労働省より差別的だとして公募により「認知症」に用語が統一された

NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする

市民によるたすけあいの理念とは

- ① お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします
- ② 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します
- ③ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議
 - 第1号議案 2021年度活動・事業報告及び収支決算の件
 - I. 2021年度活動・事業報告
 - II. 2021年度収支決算報告
 - III. 2021年度監査報告
 - 第2号議案 2022年度方針案及び事業計画案
及び収支予算案の件
 - I. 2022年度方針案
 - II. 2022年度活動・事業計画案
 - III. 2022年度収支予算案
 - 第3号議案 職員代表選出の件
 - 第4号議案 代表理事報酬の件
6. 議長・書記 解任
7. 閉会

目 次

第1号議案

2021年度活動・事業報告及び収支決算の件

- 【Ⅰ】 2021年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 2021年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 【Ⅱ】 2021年度収支決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 【Ⅲ】 2021年度監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

第2号議案

2022年度方針案及び事業計画(案)及び収支予算(案)の件

- 【Ⅰ】 2022年度方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 【Ⅱ】 2022年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - 2022年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 【Ⅲ】 2022年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

第3号議案 職員代表選出の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第4号議案 代表理事報酬の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

【資料】 組織図

第1号議案 2021年度活動・事業報告、及び収支決算の件

I. 2021年度活動報告

- ◆ 定款に沿った活動を行いました。

会員活動	
目標	総括
地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます	<p>コロナ感染拡大予防のため下記の行事は今年度もやむなく中止としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会「結びの会・りぼん」&家族介護者の会 ・被災地等への寄付金活動のためのいちょう祭り参加 ・救急救命講習会 ・会員交流会 ・定例会
① 地域活動	
地域の交流の場としてひだまりの家やみんなの居場所カフェりぼんを提供していきます。	ひだまりの家の空き曜日に ACTいきいきサークル“リーダークラブそれいゆ”と“絵画クラブアトリエ友“活動の場所提供。みんなの居場所カフェりぼんでは開所時には、月1回、趣味のグループが集まることができました。
障害者就労支援体験の場を提供します	機会がありませんでした。
広報活動を推進します	「おはなしりぼん」の発行は出来ませんでした。 「ホームページ更新」は各部門の利用者アンケートなど、随時行いました。
出前介護講習	機会がありませんでした。
在宅心身障害者 緊急一時保護登録支援	新規の登録者、利用はありませんでした。
まちづくり市民運動	生活クラブ運動グループ八王子地域協議会の定例会へ出席しました。
②法人内活動	
ひだまりの家支援 庭作りボランティア 登録ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言期間以外は、殆ど予定通りに活動できました。草むしりや枝の剪定をはじめ、野菜の苗の植え付け管理等、1年を通してご利用者に庭を楽しんでいただきました。 ・新型コロナウイルス感染防止を配慮しながら、小演奏会が開催できました。また傾聴等を通し利用者さんとのかかわりが深まりました。

みんなの居場所 “カフェりぼん” 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のお当番、居場所で提供するクッキーづくりなど運営に携わりました。 ・庭の枝、草刈りを定期的に行い、地域の方々が気持ちよく利用できるよう環境整備を行いました。
------------------------	--

総務・法人事務局															
法人事務局	総括														
	・法人の円滑な運営のための取り組みました。														
セキュリティ管理 個人情報保護	・情報セキュリティ委員会を随時開催しました														
安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、職員のコロナ陽性、濃厚接触者が発生した場合、マニュアルをもとに各部門連携を取り対処できました。 ・日本財団 PCR 検査無料事業を利用し全職員 2 月後半より隔週で実施しました。 ・インフルエンザワクチンの予防接種を推進しました。 ・従業員健康状況報告 <table border="1" data-bbox="480 1025 1439 1128"> <thead> <tr> <th>労災申請</th> <th>勤務制限必要者</th> <th>休業必要者</th> <th>出勤停止者</th> <th>復職者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>					労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者	0	0	0	4人	4人
労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者											
0	0	0	4人	4人											
労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務時間の管理、就業規則、所定労働時間の遵守に努めました ・職員の健康を維持するため、年 1 回の定期健康診断受診を促進し、9 割の職員が受診し、健診結果を参考に健康状況を各部門管理者とともに把握しました。 														
法人会員管理	正会員数 39 名 (3 月 31 日現在) 賛助会員 1 名														
会議報告	定例会 開催無し 理事会 2 回開催 理事運営会議 10 回開催 管理者会議 3 回開催														
総務	総括														
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防のため在宅ワークの推奨、また分散して出勤 ・新型コロナウイルス感染予防のための備蓄品のマスク、アルコールを部門と協力し随時配布しました。 ・職員間の職務内容のシャッフルはなんでも隊を中心に共有できました。 ・ひだまりの小口現金対応はスムーズに定着することが出来ました。 ・2 月～介護職員処遇改善支援補助金、福祉・介護職員処遇改善特定交付金の申請を行いました。 														

介護サービスりぼん																											
目標			総括																								
事業	目標	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・目標時間を上回っての実績でした。 ・新型コロナウイルスに感染し、ヘルパーの利用を休止した方が3名いらっしゃいました。 ・ヘルパー、ヘルパー家族の新型コロナ感染によりケアに入ることが出来ずケア調整しました。 																								
介護	250	259																									
予防	50	51																									
障害	180	194																									
自費	20	16																									
合計	500	520																									
(単位時間/月)																											
従業員数 常勤4名 登録ヘルパー10名			<ul style="list-style-type: none"> ・有給取得や体調不良時のケア者交代を実施できました。 ・働き方アンケートで『現状維持、自然減の場合はそのまま』と希望する登録職員がほとんどでした。3名の退職がありました。 ・新型コロナウイルス感染症対策の研修を実施し、安全にケアに入る体制をつくりました。 ・緊急事態宣言発令中やまん延防止期間中は密を避けるため常勤職員の事務所滞在時間を減らす工夫をしました。 																								
本人が安心して介助を受けられるような介護技術の獲得			<ul style="list-style-type: none"> ・研修は資料を配布し、各自読んで報告書を提出する方法で行いました。80%の提出率でした。 																								
責任ある労働の提供			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のためマスク、グローブ、消毒液、フェイスシールドの適時配布を行いました。 																								
地域社会活動			<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護初心者への訪問指導はありませんでした。 																								
苦情・事故・ヒヤリハット			苦情：0件 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>破 損</th> <th>ケア忘れ</th> <th>ケアミス 生活</th> <th>ケアミス 身体</th> <th>遅 刻 な ど</th> <th>物品持 ち帰り</th> <th>私 物 忘 れ</th> <th>手配ミス</th> <th>ひ やり は っ と</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 件</td> <td>1 件</td> <td>2 件</td> <td>0 件</td> <td>3 件</td> <td>1 件</td> <td>2 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table>							破 損	ケア忘れ	ケアミス 生活	ケアミス 身体	遅 刻 な ど	物品持 ち帰り	私 物 忘 れ	手配ミス	ひ やり は っ と	0 件	1 件	2 件	0 件	3 件	1 件	2 件	0 件	0 件
破 損	ケア忘れ	ケアミス 生活	ケアミス 身体	遅 刻 な ど	物品持 ち帰り	私 物 忘 れ	手配ミス	ひ やり は っ と																			
0 件	1 件	2 件	0 件	3 件	1 件	2 件	0 件	0 件																			

ケアプランサービスりぼん

目標	総括
<p>事業実績</p> <p>介護 1,102 件</p> <p>予防 363 件</p> <p>認定調査 311 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護 99 件と大きな数字、売上高も高く予算をあげたこともあり、年間通して到達は出来なかったが、近い件数を全員で担うことで結果として経費を上回る売り上げをあげることが出来た ・年度末は本来の業務優先とし認定調査を断ったが計画件数（288 件）を上回った
<p>従業員数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12 月末退職を予定していた非常勤職員が 3 月まで勤務することで今年度は 4 名の従業員で業務行った
<p>運営方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方針を意識することで達成することが出来た ・業務会議以外に事業所内で状況報告等頻繁に行うことが出来担当者不在時も利用者や関係機関に対して対応が出来た ・2021 年度改正で指針、マニュアル等の整備が必要となった。今後も期限が決められているマニュアル作成を行う必要があることからゆとりをもった業務を行う必要がある
<p>サービスの質向上と選ばれる事業所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート実施し結果を法人ホームページで公開した ・毎月開催される研修に参加しスキルアップ、情報収集を行った ・利用者からサービス事業所に対する苦情等についてサービス事業所と連携し対応することが出来た ・支援困難なケースについて包括相談員と連携し問題解決にむけて意見交換や支援を行った
<p>地域社会活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、法人と協働の“結びの会”が実施出来なかった ・法人事務所、居場所地区の「みんなのわ」プロジェクトに参加地域の高齢者等が元気で過ごせる場所作り、不足しているサービスについて話し合い、意見を出し合うことが出来た
<p>苦情・事故 ヒヤリハット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

ひだまりの家		
目標		総括
2021 年度 事業実績		<ul style="list-style-type: none"> 前年度後半から利用回数の多い利用者が次々と中止になり、今年度半ば過ぎ頃まで月 50 件以上の減になり、新規の問い合わせも殆どなかった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止関連を理由に、利用休止が相次ぎ、更に経営的に厳しい状況が続いた。 営業活動に力を入れ、今年度冬頃から新規利用者の問い合わせが来るようになり、少しずつ回復に向かっている。 12 月から土曜日開所し、サービスの選択を広げることができた。
介護目標	介護実績	
8.5 人/日	5 人/日	
予防目標	予防実績	
1.5 人/日	3.5 人/日	
従業員数		<ul style="list-style-type: none"> 8 月にパート介護員 1 名退職、9 月にパート介護員 1 名入職。 職員は、常勤職員 1 名、パート職員は、介護員 5 名 看護師 3 名、調理員 2 名、運転手 2 名（介護員兼務 1 名）
サービスの質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 利用者の日々の状態変化や月の報告などをケアマネジャー等にすることができ、サービス機関との連携を図ることができた。 事故苦情ひやりはつとを随時報告し、会議等でスタッフ間共有することができ、再発を予防できた。 利用者アンケートを実施し結果内容を職員間で共有し質の向上に努めた 新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底した上で、日々のプログラムの充実を図ることができた。
栄養管理		<ul style="list-style-type: none"> 季節の素材を取り入れバランスの取れた食事を提供することができ、食を通じて楽しみを感じてもらえた。急な病態による対応や、個別の対応が多くなる中、職員間で連携を図り対応することができた。 材料費の高騰もあったが、食材や調理法を工夫し提供できた。
安全衛生管理		<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、手洗い、消毒、マスク、換気、検温を徹底し、全員に理解してもらえるよう日々の中で声かけの仕方などを工夫した。 飲食時は密を避けた席の配置を整え、アクリル板も使用することで、感染予防に努めることができた。
災害対策及び施設管理		<ul style="list-style-type: none"> 地震及び火災を想定し訓練を行うことができたが地域の方との連携は図れなかった。 消防士を呼んで行う、救急救命講習会は実施できなかった。 入浴設備増設に向けて、職員間で話し合う時間を多くとることができ、改めて施設管理を見直すことができ、施設設計図と配管図が確認できた。
地域社会活動		<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を 9 月と 3 月に実施し、地域の方々に意見を頂くことができた。 引き続き、ボランティアや職場体験の中学生の受け入れは実施できたが、大学生の職場体験等はリモートでの研修の為、受け入れができなかった。 地域交流会は、実施できなかった。
苦情・事故		<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員の不在時間の事故が多くなってしまった。勘違いによる連絡ミス等が目立った。

みんなの居場所カフェりぼん			
目標	総括		
120,000 円	実績 186,794 円 八王子市ふれあい・いきいきサロンの見守り加算(80,000 円)を申請しサロン参加者(スタッフ含む)同志の見守り活動を実施した		
	年間活動日数	年間参加人数	年間スタッフ人数
	154 日	797 人	166 人
従業員数 登録ボランティア 16 名	月～金 12:30～16:00 一人でお当番担当		
目的に沿った活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月 19 日 八王子市生活支援コーディネーター講師による「栄養講座」開催 11 名参加 ・ 居場所内での手作り品中心のバザー ・ 毎月 1 回木目込み講座 <p>① コロナ感染症拡大、緊急事態また蔓延防止宣言を受けその都度閉所した。 解除後は、予防対策を行いながらの開所</p> <p>② 密を避ける為、ワコウコンサート、麻雀、トリム体操、食事の提供は中止</p> <p>③ 元八市民センターでの年 2 回開催されるセンターまつりは中止となりバザーでの参加ができなかった。</p> <p>④ 「みんなでつながろう元八のわ」プロジェクトアンケート活動報告会参加し、コロナ鍋の中活発に活動しているサロン、居場所の状況を知ることが出来た</p> <p>緊急事態宣言解除後開所し、開所を待っていて下さった利用者が毎日来所し、近況報告や励まし合ったりして、絆を強めることが出来た。</p>		
助成金	八王子市一般予防サロン活動支援事業「常設サロン」支援金 596,000 円(見守り加算 80,000 円を含む)受給		

第2号議案 2022年度方針及び事業計画及び収支予算の件(案)

I. 2022年度方針(案)

○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・メンバーひとりひとりの協力のもと経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

■ 地域に根ざした法人を目指す

2年に渡るコロナ禍の影響を受けたこともあり介護事業所の事業環境は大きな変化がありました。この状況は当法人も例外ではなく経営的にも厳しい状況に追い込まれましたが、こんな中だからこそ事業を継続していく存在意義を感じられる年でもありました。

市民ユニットりぼんの経営理念は設立当初より「経営基盤の確立」「利用者の立場にたったサービス」「地域福祉の拠点」です。

地域の中で私たちの目指す活動を展開していくためには、まず経営が安定すること、そして、豊富な人材です。

とりわけ共に働き、活動する仲間が増えていくことで多様な立場から意見を出し合い、エンパシー力を働かせ、より地域のニーズに近づいた活動が出来るのだと思います
介護サービスは今や欠かせない社会のインフラです。「地域福祉の拠点」として、出遅れない様に考えていく必要があります。

8年前、開所した「みんなの居場所 カフェりぼん」は、コロナ禍前の様な活動は出来ないものの、地域の方々の力を借りて地域の居場所として、仲間同士たすけあいながら定着して来ていると思います。

そこでの交流は私たちも学ぶことが多く、お互いを気遣い、思いやる「たすけあう共助」の場として根付いています。

3年に一度の介護保険制度改正ごとサービスも利用しづらく経済的負担、家族の負担も増えて来ているという現実

家族の介護負担軽減のためとうたわれた保険制度は後退している印象があります。
人生100年時代といわれる昨今、住み慣れた地域で共に暮らせる共生のまち、
いつでも手の届くところにいる「市民ユニットりぼん」であり続けたいと思います。

■サービス提供体制の充実を図り、サービスの質の向上を目指します

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止を徹底します。
- すべての職種に共通した研修を実施し、各種職種別研修の参加を推進します。
- 法人全体で個人情報保護に取り組んでいきます。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 職員の健康に配慮し、責任あるサービスの提供に努めます。

■誰もが集える場所、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

- 地域を知って地域のニーズをひろいます。
- 公的なサービスでは解決出来ないサービスを作ります。
- 会員数を増やしていきます。
- スタッフも、地域の人も、誰もが楽しく集える場所を作ります。
- 地域の顔が見える関係を作ったすけあいの輪をひろげていきます。

II. 2022 年度活動・事業計画（案）

会員活動

【地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます】

新型コロナウイルス感染症が昨年度とおなじ状況が続くと思われる。そんな中、法人活動が停滞しないよう会議（ズーム会議の利用等）を工夫して、部門の業務会議や、業務ニュースなどに発信してゆきます。

①地域活動

- ◇ 地域の交流の場として、ひだまりの家やみんなの居場所「カフェりぼん」を提供していきます。
- ◇ 障害者就労体験の場を提供します。
- ◇ 広報活動を推進します。
 - ◎広報紙「おはなしりぼん」の発行
 - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ◇ 出前介護講習
在宅介護初心者のお宅に出向いて介護方法等の講習を行い介護者を支援していきます。
- ◇ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録推進します。但し「コーディネート」は行いません。
- ◇ 交流会「結びの会・りぼん」
りぼん会員、利用者、職員はもとより広く地域にむけての交流会を実施します。
- ◇ 被災地等への寄付金活動
いちよう祭り等を活用して、バザー等の売上金を寄付する活動を行います。
- ◇ 市民運動・政策提言
地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ◇ 他団体と共に地域福祉の向上及び地域包括システム(ネットワーク)の活動を行います。

②法人内活動

- ◇ ひだまりの家の支援を行います。
 - ◎庭作りボランティア
 - ◎登録ボランティア
- ◇ みんなの居場所カフェりぼんの支援を行います。
 - ◎開所時のお当番ボランティア
 - ◎庭の草むしりや、環境整備のボランティア
- ◇ 救急救命講習を実施します。
- ◇ 会員交流会を実施します。
- ◇ みんなが参加できる定例会を目指します。

総務・法人事務局	
法人事務局	方針
<p>法人活動が停滞しないように会議（ズーム会議の利用等）を工夫したり、りぼんニュース、部門の会議やニュースなどに発信していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。 ・法人の円滑な運営の充実を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 1、個人情報保護に取組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ委員会を随時開催します。 ・職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。 2、安全衛生管理に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策の基本を守ります。 ・衛生委員会を随時開催します。 ・従業員の勤務時間の管理の徹底を継続。また、働き方改革の労基法を順守します。 ・従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します 3、各種規程の整備及び制定とメンバーへの周知のための研修実施 <ul style="list-style-type: none"> 「虐待防止対応規程」「虐待防止委員会規程」「身体拘束適正化規程」 「感染症予防対策規」 「職場におけるハラスメント及び介護現場におけるハラスメント防止規程」 4、安全運手管理者の指導のもと交通安全と運転者の運転前後のアルコールチェック実施 	
総務	方針
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の職務内容のシャッフル ・レセプト業務と決算業務の相互共有 	

II. 2022 年度事業計画案

介護サービスりぼん											
目標	方針										
事業内容	介護保険介護給付事業、介護予防・日常生活支援総合事業、障害福祉サービス、八王子市移動支援事業、自立支援事業（なんでも隊）										
目標件数	<table border="0"> <tr> <td>介護保険</td> <td>250 時間</td> </tr> <tr> <td>予防</td> <td>50 時間</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td>180 時間</td> </tr> <tr> <td>自費</td> <td>20 時間</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>500 時間</td> </tr> </table>	介護保険	250 時間	予防	50 時間	障害	180 時間	自費	20 時間	合計	500 時間
介護保険	250 時間										
予防	50 時間										
障害	180 時間										
自費	20 時間										
合計	500 時間										
従業員数	常勤 4 名（サービス提供責任者 2 名、常勤ヘルパー・自費コーディネーター 1 名、常勤ヘルパー 1 名） 登録ヘルパー 7 名										
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援 ・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得 ・ 責任ある労働の提供 										
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年 1 回の健康診断を推進します。 ・ 毎月 1 回の常勤職員業務会議を実施し情報の共有を図ります。登録職員には業務ニュースとして配信。それぞれが情報を適切に得て安心して業務対応できる環境を作ります。 ・ 研修計画をたて、参加を推進します。 										
地域社会活動	在宅介護初心者の自宅に出向き介護方法等の講習を行い介護者の支援を行います。										

ケアプランサービスりぼん

目標	方針
事業内容	介護支援 予防委託支援
従業員数	管理者 1 名 常勤 1 名 非常勤 1 名 パート 1 名
目標件数	介護 81 件 (管理者 26 件 常勤 32 件 非常勤 23 件) 予防 25 件 (管理者 10 件 常勤 9 件 非常勤 6 件) 認定調査 15 件
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中立公正な立場でニーズにあった情報提供を行い、利用者、家族が選択できるよう支援します。 ・ 利用者の持てる能力を生かし、笑顔がみられる支援を行います。 ・ 月 1 回業務会議を開催し情報共有を行います。又、事業所内で事例検討を行い課題の解決ヒントを見出します。 ・ 年 1 回 健康診断を実施し健康な身体と精神で業務を遂行していきます。
サービスの質向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の持てる能力、望むこと等、潜在的なニーズを探り、生かされる支援を行っていきます。 ・ ニーズにあった社会資源を公正中立な立場で情報提供を行い利用者が自己決定出来る様支援を行います ・ 疾病、障害や家族構成等、それぞれ違った環境にあっても安心して暮らせるよう地域やサービス事業所と連携を図り支援をしていきます ・ 事故、苦情、ひやりハットを共有し再発を予防していきます ・ 利用者アンケートを実施し、より多くの意見、要望を聞き取り改善することで質の向上に努めます ・ 積極的に研修参加することでスキルアップを目指します ・ 各種マニュアルの研修を適時実施していきます
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人と協働で「結びの会」を開催し利用者や家族が元気に交流出来る場所を提供します。

ひだまりの家		
目標		総括
2021 年度 事業実績		<ul style="list-style-type: none"> 前年度後半から利用回数の多い利用者が次々と中止になり、今年度半ば過ぎ頃まで月 50 件以上の減になり、新規の問い合わせも殆どなかった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止関連を理由に、利用休止が相次ぎ、更に経営的に厳しい状況が続いた。 営業活動に力を入れ、今年度冬頃から新規利用者の問い合わせが来るようになり、少しずつ回復に向かっている。 12 月から土曜日開所し、サービスの選択を広げることができた。
介護目標	介護実績	
8.5 人/日	5 人/日	
予防目標	予防実績	
1.5 人/日	3.5 人/日	
従業員数		<ul style="list-style-type: none"> 8 月にパート介護員 1 名退職、9 月にパート介護員 1 名入職。 職員は、常勤職員 1 名、パート職員は、介護員 5 名 看護師 3 名、調理員 2 名、運転手 2 名（介護員兼務 1 名）
サービスの質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 利用者の日々の状態変化や月の報告などをケアマネジャー等にすることができ、サービス機関との連携を図ることができた。 事故苦情ひやりはつとを随時報告し、会議等でスタッフ間共有することができ、再発を予防できた。 利用者アンケートを実施し結果内容を職員間で共有し質の向上に努めた 新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底した上で、日々のプログラムの充実を図ることができた。
栄養管理		<ul style="list-style-type: none"> 季節の素材を取り入れバランスの取れた食事を提供することができ、食を通じて楽しみを感じてもらえた。急な病態による対応や、個別の対応が多くなる中、職員間で連携を図り対応することができた。 材料費の高騰もあったが、食材や調理法を工夫し提供できた。
安全衛生管理		<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、手洗い、消毒、マスク、換気、検温を徹底し、全員に理解してもらえるよう日々の中で声かけの仕方などを工夫した。 飲食時は密を避けた席の配置を整え、アクリル板も使用することで、感染予防に努めることができた。
災害対策及び施設管理		<ul style="list-style-type: none"> 地震及び火災を想定し訓練を行うことができたが地域の方との連携は図れなかった。 消防士を呼んで行う、救急救命講習会は実施できなかった。 入浴設備増設に向けて、職員間で話し合う時間を多くとることができ、改めて施設管理を見直すことができ、施設設計図と配管図が確認できた。
地域社会活動		<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を 9 月と 3 月に実施し、地域の方々に意見を頂くことができた。 引き続き、ボランティアや職場体験の中学生の受け入れは実施できたが、大学生の職場体験等はリモートでの研修の為、受け入れができなかった。 地域交流会は、実施できなかった。
苦情・事故		<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員の不在時間の事故が多くなってしまった。勘違いによる連絡ミス等が目立った。

みんなの居場所カフェりぼん	
目標	方針
140,000 円	八王子市のサロン助成金を申請 504,000 円 コロナ感染予防に努めながら、 月～金 13:00～16:00 の開所（状況を見て以前と同じ 10 時～16 時）
活動内容 目的に沿った活動	<p>【目的】</p> <p>1、地域の人たちが昔の縁側のように気軽に立ち寄れる交流の場とします。</p> <p>2、公的サービスだけではニーズが満たされない高齢者の行き場として、居場所を開放し特技を生かしてもらいます。</p> <p>3、地域の方々や職員の交流の場、特技を生かす場として活用します。</p> <p>・介護予防、早めの発見をするための見守り活動、 引き続きボランティア含め居場所スタッフで見守りをする</p> <p>映画鑑賞会 握力計を使っての自己健康観察 ワンコインコンサートの開催(年3回) 木目込み バザー&健康相談(年2回) ラジオ体操 サークルへの場所貸し 喫茶</p> <p>*気軽の立ち寄れる居場所として企画を考える。 *利用者層の拡大 *他団体（サロン、居場所など）との交流</p>

Ⅲ. 2022年度活動予算書（案）							
							(単位：円)
I 経常収益	収益事業				本来事業	総務・共通	総合計
	居宅部門	通所部門	ホームヘルプ部門	収益事業計	居場所		
事業収益	14,712,336	22,800,000	22,800,000	60,312,336	140,000		60,452,336
正会員受取会費						105,000	105,000
賛助会員受取会費						10,000	10,000
受取寄付金							0
受取助成金					504,000		504,000
経常収益計	14,712,336	22,800,000	22,800,000	60,312,336	644,000	115,000	61,071,336
II. 経常費用							
1. 事業費						2. 管理費	
(1)人件費]							
給料手当	9,264,200	12,590,400	12,181,600	34,036,200		5,280,400	39,316,600
処遇改善金		500,000	2,000,000	2,500,000			2,500,000
法定福利費	1,140,000	620,000	2,100,000	3,860,000		120,000	3,980,000
福利厚生費	30,000	40,000	60,000	130,000		200,000	330,000
通勤費	120,000		240,000	360,000		60,000	420,000
パート通勤費	2,400	220,000		222,400	80,000	190,000	492,400
労働保険料				0		420,000	420,000
(2)その他経費							0
ケア交通費	210,000	132,000	780,000	1,122,000			1,122,000
車両費・ガソリン	100,000	250,000	380,000	730,000		20,000	750,000
材料費		900,000		900,000	20,000		920,000
消耗品費		280,000	20,000	300,000	10,000	200,000	510,000
備品・施設維持費		60,000		60,000	30,000		90,000
保守料		120,000		120,000		200,000	320,000
水道光熱費		440,000		440,000	80,000	320,000	840,000
通信費	210,000	100,000	40,000	350,000	13,000	350,000	713,000
印刷代				0		200,000	200,000
研修費				0		30,000	30,000
新聞図書費	10,000			10,000		2,000	12,000
諸会費	9,000	6,600	3,000	18,600	4,800	17,000	40,400
支払手数料				0		45,000	45,000
会議費				0		100,000	100,000
会員活動費				0		100,000	100,000
広報費				0		5,000	5,000
料（ひだまり号）		113,000		113,000			113,000
火災保険料				0	27,000		27,000
料（賠償など）				0		291,000	291,000
支払報酬		30,000		30,000	30,000	132,000	192,000
減価償却費	298,080	388,936	395,712	1,082,728		268,824	1,351,552
1代家賃・駐車代	162,000	1,661,112	162,000	1,985,112	306,000	1,383,180	3,674,292
租税公課		46,700		46,700	30,000	4,000	80,700
雑費・交際費		3,000		3,000	10,000	10,000	23,000
経常費用計	11,555,680	18,501,748	18,362,312	48,419,740	640,800	9,948,404	59,008,944
期経常増減額	3,156,656	4,298,252	4,437,688	11,892,596	3,200	-9,833,404	2,062,392

第3号議案 職員代表選出の件

横山 きみ子 (2022.6.1~2023.5.31)

第4号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 20,000円とする。

ただし、別途職員としての業務に対し給与等を支給することを妨げない。

